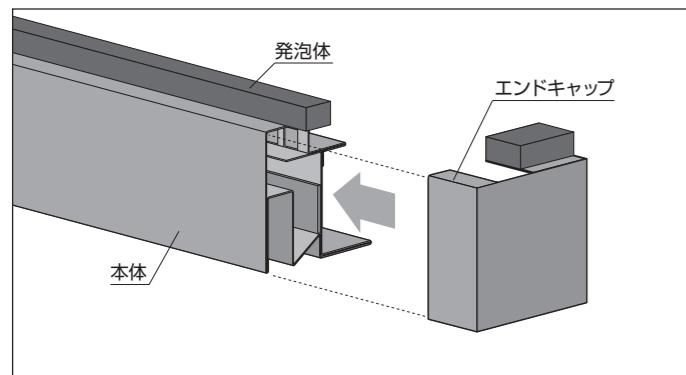


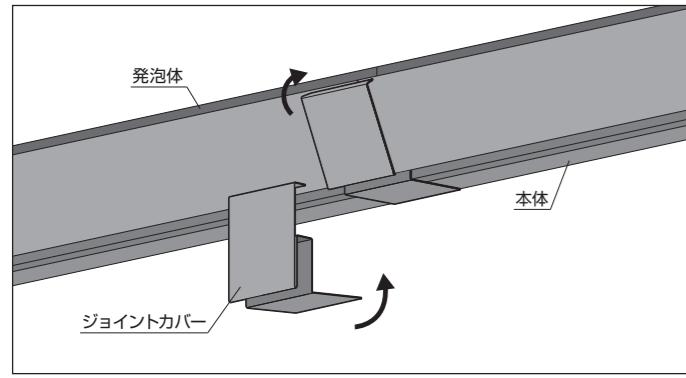
4 エンドキャップ・頂部パーツ・ジョイントカバーの取り付け

■エンドキャップ

本体にエンドキャップを差し込んでください。
エンドキャップの取り合い箇所はシーリング材塗布などの防水措置を行ってください。



■ジョイントカバー



5 軒先水切り・外装材の取り付け

- 軒先水切りを取り付けます。
- 外装材を取り付けます。

製品仕様

品名	鋼板製 防火対応 軒天換気材(軒ゼロタイプ 破風レス対応)		
品番	FV-DE055-L18		
材質	カラーGL鋼板*(厚さ:0.35mm)高耐食仕様	発泡体:EPDM	熱膨張材:ブチルゴム系
長さ	1,820mm		
有効換気面積	100.8cm ² /m		
入数	6本/ケース		
付属品	取付ビス 36本/ケース(6本/袋×6袋)		

*JIS G3322

品名	ジョイントカバー	エンドキャップ	頂部パーツ		
品番	FV-DE055JC	FV-DE055EC	0.5寸勾配以上～2.5寸勾配まで	2.5寸勾配超～4寸勾配まで	4寸勾配超～6寸勾配まで
入数	6コ/ケース	2セット(左右各2個)/ケース	FV-DE055TP-12	FV-DE055TP-34	FV-DE055TP-56

Joto

要保存

施工説明書

鋼板製 防火対応 軒天換気材

軒ゼロタイプ 破風レス対応

FV-DE055-L18

この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

△注意



この記号は、禁止の行為を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。



本製品に不必要的打撃を加えないでください。

本製品の分解・改造などは行わないでください。

沿岸地域(塩害の恐れのある地域)および濃霧多発地域、また、その他に錆を誘発する環境下へのご使用は避けてください。

本製品を軒天以外の場所へ使用しないでください。

本製品を野縁受などの下地材として使用しないでください。

保管についてのお願い

本製品の保管は、雨雪などのかられない屋内で平積みにて行ってください。

本製品は立て置きでの保管をしないでください。小口を傷めたり、ソリや変形の原因になるおそれがあります。

本製品を梱包ケースの小口から引き抜かないでください。製品に傷が付く場合があります。



施工についてのお願い

建築基準法並びに関係規則規定等に適合しているかご確認の上、ご使用ください。

大臣認定番号を使用する場合は、認定書の別添に従った材料の選定と施工をしてください。

水上側・ケラバ側での防火認定範囲については、設計者の判断の基ご使用ください。

製品の取り付けは、必ず付属の取付ビスをご使用ください。

透湿防水シートを桁の上端まで確実に施工するなど、躯体側やその他水掛かりに注意が必要な部分には防水措置を確実に行ってください。

銅・鉛など異種金属との接触・接合は、電食が起こる場合がありますのでご注意ください。また、銅・鉛などを含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材など)との接触も同様にご注意ください。

鉄粉・モルタルなどの異物接触により、表面に変色や錆が生じる場合がありますので注意してください。

給湯器等の燃焼ガスの接触により塗膜剥離が起こるおそれがありますのでご注意ください。

本製品は金属製のため、手等を切るおそれがありますので十分注意してご使用ください。

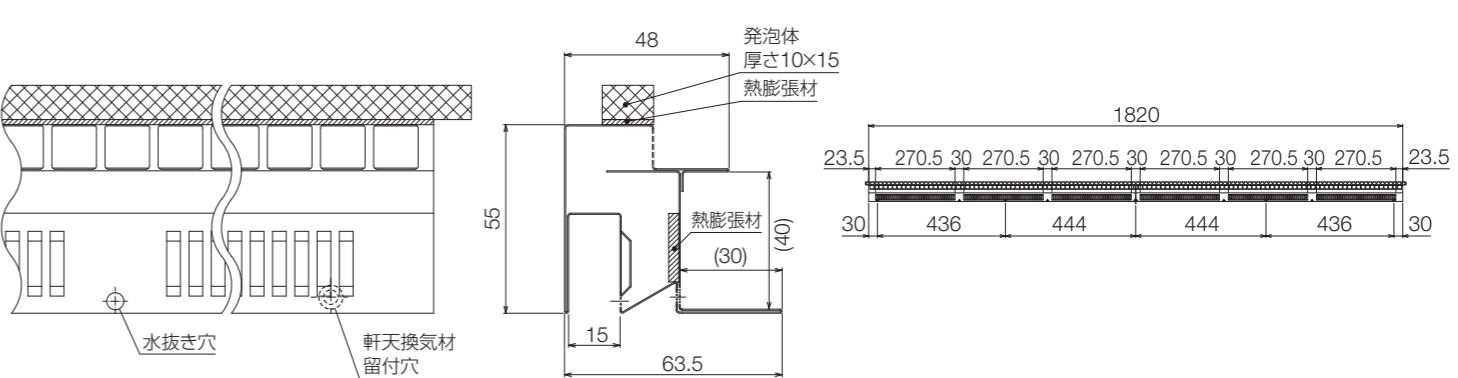
塗装面と比較して錆びやすい小口部分は、必要に応じて専用補修塗料(スプレータイプ)を塗るなどの処理をおすすめします。

本体留付用木下地・鼻隠し下地等(下地材)は日本農林規格(JAS)に適合する製材、集成材、平成12年建設省告示第1452号の第六号に規定する無等級材または第七号に規定する木材を使用してください。

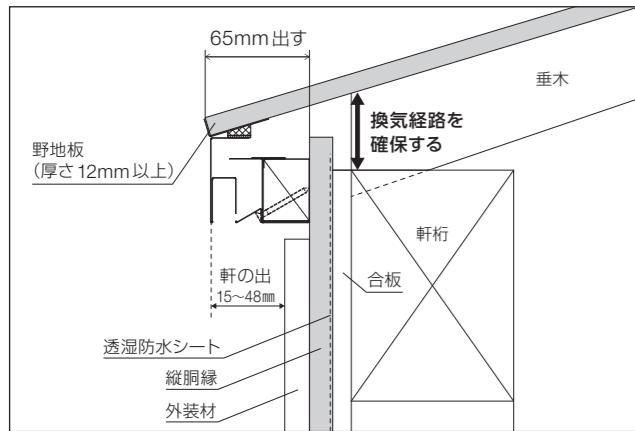
下地材は材が割れていないか、十分に乾燥しているかをご確認ください。

本製品は専用補修塗料(スプレータイプ)を準備しております。ご用命の際は最寄りの営業所へご連絡ください。

製品寸法図(単位:mm)



1 施工前の確認



野地板	
厚さ	12mm以上
留付材	Ø1.9×長さ32mm以上の釘、またはビス(鋼製・ステンレス製)
留付間隔	垂木1本あたり1本以上

野地板の出(縦胴縁面から野地板の先)は、発泡材を漬すため、65mmを確保してください。軒の出(外装材表面から軒天換気材表面まで)が15mm以上48mm以下になるようにしてください。

△注意

軒先水切りは、野地板に先に取り付けないでください。
広小舞キャップと軒天換気材を取り付けることができなくなります。
また、外装材の施工も軒天換気材取り付け後に行ってください。

施工時は、手順2~4を一辺ずつ繰り返してください。全周に先に換気材のみを取り付けた場合、エンドキャップの取り付けが出来ないおそれがあります。

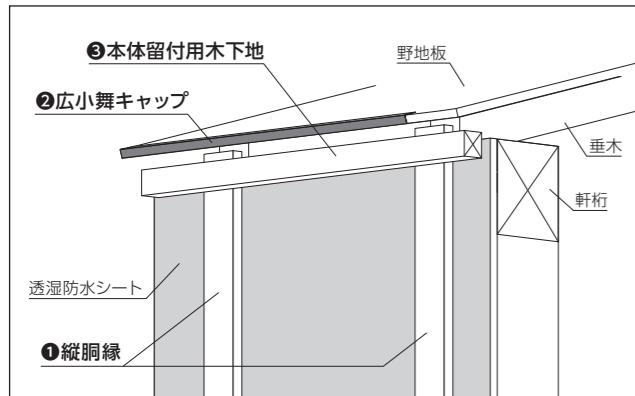


当換気材の施工は
妻勝ちとしてください。
◀例:片流れの場合

2 縦胴縁・広小舞キャップ・本体留付用木下地の取り付け

①縦胴縁 ②広小舞キャップ ③本体留付用木下地を図に従って順番に取り付けます。木下地の取り付け位置は屋根勾配で変わりますので、2を参考に墨出しを行ってください。

1 広小舞キャップの取り付け位置



広小舞キャップ(現場調達)	
厚さ	0.35mm以上
留付材	Ø1.9×長さ32mm以上の釘、またはビス、または釘とビスの組み合わせ(鋼製・ステンレス製)
留付間隔	軒の幅方向303mm以下
参考図	
※寸法は参考です。 野地板の小口が隠れる様に してください。	

2 本体留付用木下地の取り付け位置

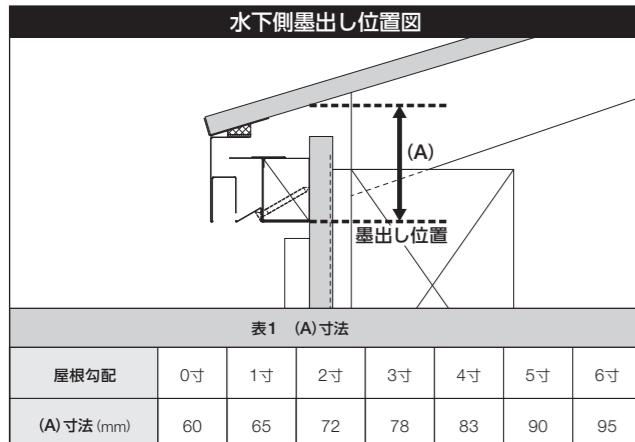
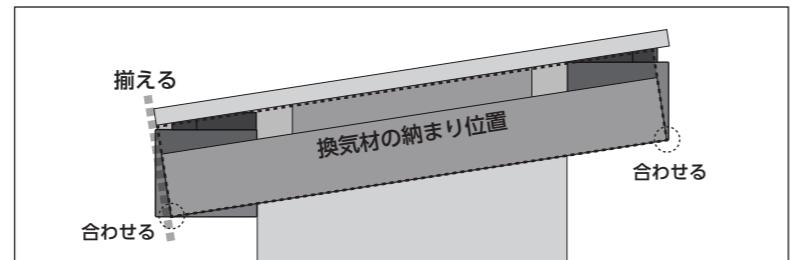


表1 (A)寸法							
寸法	30mm×40mm	留付材	Ø2.75×長さ50mm以上の釘・ビス(鋼製・ステンレス製)	留付間隔	軒の幅方向455mm以下		
屋根勾配	0寸	1寸	2寸	3寸	4寸	5寸	
(A)寸法(mm)	60	65	72	78	83	90	95

3 ケラバ側の本体留付用木下地の位置

野地板の下に換気材を納めるため、本体留付用木下地の下端を軒側の換気材に揃えて留め付けてください。
墨出し位置は、表1の0寸同様、60mmです。



4 水上側参考納まり図

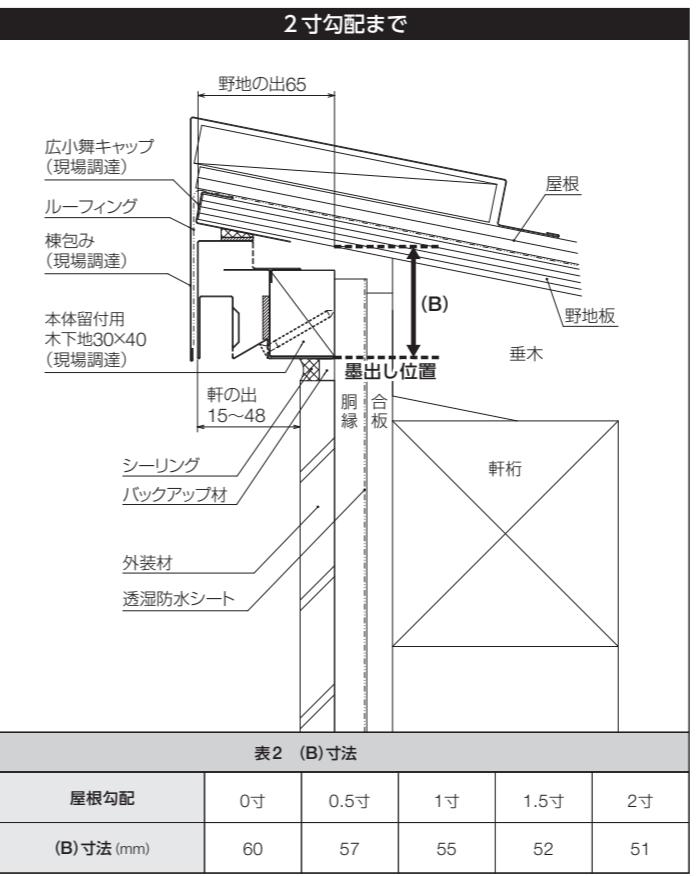


表2 (B)寸法

屋根勾配	0寸	0.5寸	1寸	1.5寸	2寸
(B)寸法(mm)	60	57	55	52	51

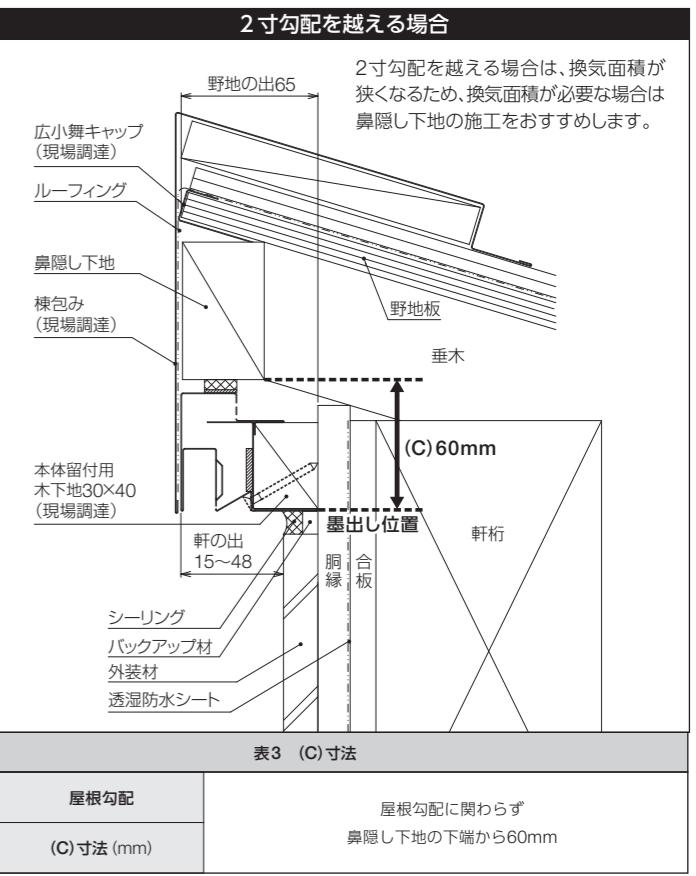


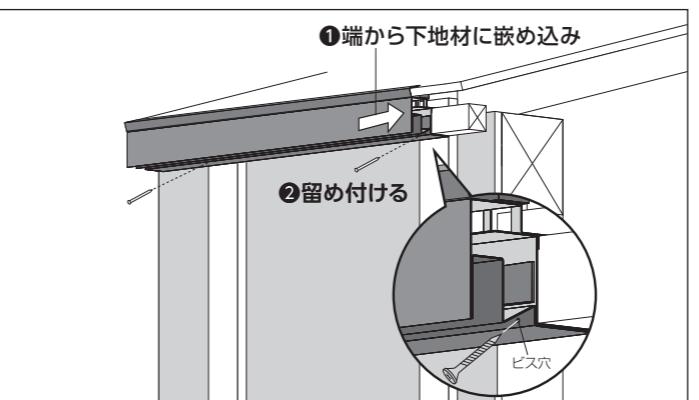
表3 (C)寸法

屋根勾配	屋根勾配に関わらず 鼻隠し下地の下端から60mm
(C)寸法(mm)	

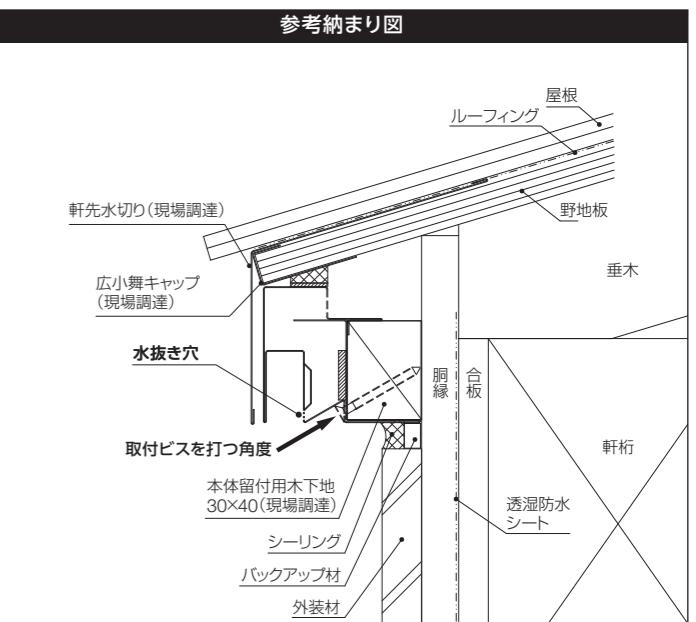
3 軒天換気材の取り付け

本体留付用木下地に軒天換気材を取り付けます。軒天換気材の端から木下地に嵌め込んだ後、同梱の取付ビスで、軒天換気材のビス穴を全て留め付けてください。(軒天換気材1本につき、ビス穴は5カ所です。) その際、軒天換気材上部に付いている発泡体がねじれたり、剥がれたりしないように注意してください。エンドキャップが取り付けられなくなるため、木下地→軒天換気材の取り付けは必ず一辺ずつ行ってください。

■軒天換気材の取り付け



軒天換気材	
留付材	Ø3.8×38mm以上の釘・またはビス(鋼製・ステンレス製)
留付間隔	444mm以下



※取付ビスは斜めに打ってください。
※換気孔直下の穴は水抜き穴となります。混同しないようにご注意ください。